

もりばたけPRESS

■発行 もりばたけ秀治事務所
■連絡先 東区温品 7-18-4
秀和ビル 1F 103

平成 23 年 第 4 回 (9 月) 定例会報告

9 月の定例会は 15 日～29 日の 15 日間開催され、様々な観点からの質問や政策提言がなされました。森島秀治議員は一般質問初日の 21 日、以下の 3 点について質問しました。

- 雇用対策について
- 覚醒剤等薬物乱用防止について
- 道路・交通問題について



道路・交通問題について (抜粋)

質問

東区温品、上温品、馬木、福田では昭和五十年代に急激な市街化が進み、先の四町と都心を結ぶ唯一の幹線道路である県道広島・中島線の交通渋滞は大変激しくなった。この道路は幹線道路であると同時に地域住民のただ一つの生活道路だ。朝の通勤、通学の時間帯には、バスが福田寺分から広島駅までの十キロ余りの距離で最大で二時間四十分もかかるなど深刻な社会問題となった。(中略) 生活道路として将来無料化する」との約束だった安芸府中道路は高速道路に連結し、中筋・温品線や温品・馬木線は宙に浮き、最低条件である県道広島・中島線の整備については平成二十三年度から三億ずつ投資し、六年かけて平成二十八年に完成させるというものだ。しかもそれは順調に投資し続けられるならばの話だ。なお、三年前の平成二十年の説明会では、完成時期は二十年代前半と言いつつ切っていた。これこそが政治と行政の怠慢というものではないか。三十年間住民を騙し続け、投げ出しているに等しいこの事実が口悪く言えば詐欺と同じだ。もう予算がない、金がないという言い訳には地域の住民は納得できない。三十猶予年苦しみ続けている地区に、まだこれから六年間も、またそれ以上も耐え、忍べと言うのか。県道広島・中島線の拡幅整備、早期実現と朝の交通規制の廃止を強く求める。

答弁

広島・中島線については東区温品四丁目から馬木六丁目の四・七キロを平成三年度より整備を進めている。今後も最重点区間として取り組み、平成二十年代後半の完成を目指す。また、交通規制の廃止については広島・中島線の進捗状況を見ながら地元の意向を十分ふまえて県警と協議していきたい。

地域とともに

一般質問では、広島空港行きリムジンバスの福田停留所の利用についても取り上げました。

広島空港アクセス対策事業として、リムジンバスの新規路線開拓に向けて実施される、社会実験に要する経費が計上されている。

この事業は、広島市からの利便性の向上を図り、広島空港の利用者増をめざすというものだ。さまざまなルートを設定して、いろいろな角度から検証されることを願っている。また、あわせて既存路線の利用に際しても、検証することが必要だ。

既存路線の中では、現在、福田からのリムジンバスへの乗り降りができない。福田には既に停留所も整備されている。これを利用することにより、東地区の住民の利便性は大幅に向上するものである。広島空港行きリムジンバスの、福田停留所の利用を強く求める。

所属会派

ひろしま保守クラブ

所属委員会

消防上下水道委員会（9人）

【所管事項】消防・防災、水道、下水道など
都市活力向上対策特別委員会（20人）

【調査項目】

- 1 当面する都市活性化に関する課題について
 - (1) 旧広島市民球場跡地の活用
 - (2) 広島大学本部跡地の有効活用
 - (3) 広島駅周辺地区の整備
 - (4) 広島西飛行場廃止後の跡地活用
- 2 観光振興について
- 3 災害に強いまちづくりについて

アクションレポート



上温品 石原田団地内法面改修工事



まちづくりについて講演

これからの地方議会

いま、地方政治は大きな転機を迎えています。

2000年の第一次地方分権改革により、基本的な意思決定は全て地方議会に委ねられるようになりました。

地方議会は執行機関の監視者として予算の執行や条例、契約などに関する行動を監視、統制する役割を担っています。

しかし、重要なのは監視者としてだけでなく、議員自らが政策論争をし、政策や条例を提案するという役割です。みなさんが期待できる将来、そして皆さんが期待できる政治家をめざして“地域とともに”さらに前へ進みます。



ボランティアスタッフと



地域のふれあい祭りで